

2013/14 WEEKLY BULLETIN



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

市原ロータリークラブ会報

第2420 回例会 2013 年 9 月 18 日(水) SAA(司会)／菊地会員 会報担当／梶内会員

事務局 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 TEL.0438-38-3535 例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1



ENGAGE ROTARY
CHANGE LIVES

- 点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫
- ソング 手にてつないで
- お客様 市原中央高等学校IAC顧問 田中瑛莉加先生
IAC渡邊 優会長 早川晃平副会長
市原千夏副会長

- 会長挨拶 市原RC会長 泉水孝夫



皆さんこんにちは。9月は青少年奉仕月間です。青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものです。

青少年奉仕では、クラブの職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕プロジェクト

における青少年や若者の参加を促進し、こうした世代の支援を目的としたプログラムやリソースをクラブが積極的に提供していくことが重要です。

ところで、RI2790 地区の IAC は 16 クラブありますが、2クラブは、部員数1名で存続の危機に瀕しています。そんな中、市原中央高校 IAC は部員数 25 名で活発に活動しています。そこで、本日はインターアクト指導者講習と言う位置付けで、今年度の活動状況を発表して頂き、その後津留会員に卓話をお願いしました。

有意義な例会となりますようによろしくお願いします。

●幹事報告

①地区R財団委員会より、『ポール・ハリス・ソサエティ会員募集の件』について案内が届いています。内容を要約しますと、個人的に毎年 1,000 ドル以上を目標に寄付する個人を認証するプログラムです。詳しい内容につきましては、事務局にご確認ください。

②地区より 10/7 (月) の地区大会記念ゴルフ組合せ表他が届いていますので、参加者の皆様はご確認下さい。

③第3分区Bより分区ゴルフのご案内及び出欠確認を会員皆様にご案内しています。参加出来る方は事務局まで連絡をお願い致します。

●本日のメインプログラム／津留会員卓話

市原ロータリークラブ 青少年育成小委員会 津留起夫

皆様こんにちは。昨年度の地区新世代奉仕委員長を拝命していました津留です。今日お見えになっている市原中央高校IACの役員の生徒さんですが、一緒に活動をしていただきありがとうございました。田中先生とは昨年度初めて一緒に活動をしていただき、誠に積極的にありまして、IACの顧問として活動の指導をしていただいております。

振り返ってみますと、「新世代奉仕」が「青少年奉仕」と言う事になりましたが、友誌9月の記事にありますように、これは第五奉仕部門の名称が変わ



ったというだけで、「新世代」と言う言葉はまだいくつかそのままになっているとのことです。この矛盾はいずれRI理事会で検討、統合されていくことだろうとも書かれています。ですから、「青少年奉仕」と「新世代奉仕」が混ざってお話するかもしれませんが、ご了解をお願いいたします。

RI理事会は、「青少年奉仕」に非常に力を入れているわけですが、友誌9月

号記事にありますように、「青少年を取り巻くロータリーが制定しているプログラムの垣根を取り払って、若者についていつも気を配ろう」としています。記事によりますと「今年9月は世界中のロータリークラブが『新世代月間』になっている。プログラムごとの年齢枠を取り払い30歳までの若い人たちの関心事、ニーズ、問題、抱負および希望に応えるために、新世代のためのロータリープログラムに集中的に取り組もうではないか。すべてのロータリークラブとロータリアン、地区はそのためにいろいろなプログラムを立ち上げよう」とあります。

縦割りのプログラムと年齢の関係図を示します。18歳までは、IAC (インターアクト・クラブ)、RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)、RYE (ロータリー青少年交換)が、該当します。

年齢	INTERACT	ROTACT	RYLA	RYE	RKE	R財団
30						
25						
23						
22						
21						
20						
19						
18						
17						
16						
15						
14						
13						
12						
11						
インターアクト	12歳から18歳まで					
ロータリー青少年指導者養成プログラム		12歳から18歳まで				
RYLA			12歳から18歳まで			
RYE				12歳から18歳まで		
RKE					12歳から18歳まで	
R財団						12歳から18歳まで

年齢別 ロータリープログラム表

インターアクトが12歳から18歳までになっています。従来は高校生を対象になっていましたが、中学生まで広げました。現在中高一貫校には都合のいい年齢範囲になりました。R 青少年交換は、高校生がその中心になっており、市原ロータリークラブでは、市原中央高校 IAC の生徒が現在中心となっています。

高校卒業後は、RAC (ローターアクト・クラブ)、RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)、新世代交換、R 財団奨学生のプログラムが用意されています。RAC の年齢制限を30歳から2年ほど延長する動きが主に日本から出ましたが、否決されております。会員数の維持がその最大の目的でしたが、30歳と言うのは、国際的には立派な大人であるとされました。

新世代交換は、過去当地区では2件の実績がありますが、現在ではありません。また、R 財団奨学生は、市原 RC から最近推薦していません。インターアクト・クラブにこだわらず、ロータリーのプログラムに挑戦してください。数年前のことです。皆さんの先輩の原地君が、フロリダの大学に

入学するためにいろいろとメールでやり取りをしておりました。「きっと絶望する時が来ると思う。夜空にたった一つの星しか残ってない時でも、その星を希望として頑張っていこう」と送った時に、「ありがとうございます。私は、その夜空の一点の星を、夜空満天の星に変えて見せます」という頼もしい返事とともに渡米をしていきました。泉水会長もお話になりましたが、青少年の好ましい変化を、我々ロータリアンは認めなくてはなりませんし、そこに青少年奉仕の根っこがあるような気がします。

話変わって、これからロータリーについて少しだけお話をします。ロータリーの設立には4人がかかっています。その中の中心人物が、ポール・ハリスその人です。1905年2月23日にアメリカ・イリノイ州シカゴに「シカゴ・ロータリークラブ」が誕生しました。20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展で沸き返っていましたが、その陰で商業道德の欠如が大いにあり例えば「騙されたほうが悪い、損をしても仕方がない」などと言われていました。



ポール・ハリス(1868.4.19～1947.1.27)
・ロータリー・クラブ創始者



創設者4名

弁護士:ポール・ハリス、石炭商:シルベスター・シール

鉦山技師:ガスターパスE.ローア、洋服商:ハイラム・ショーレー

当初、親睦を重視したクラブ運営でした。気心が互いにしれれば、取引も自然と会員同士で便宜を払うようになりました。それは、ロータリークラブ会員同士ですから、安心して商売ができるのです。会員同士が輪になって、手をつなぎ親睦が商売につながり、商売が親睦につながっていきます。ここにチェスリー・ペリーとアーサー・シェルドンが、ロータリークラブに入会することにより、クラブは、近代化へと進むのでした。



チェスリー・ペリー(1872～1960)
1908年シカゴRC入会(ハリー・ラグレス紹介)
「ロータリー建設者」
・国際ロータリー初代事務総長
・「職業は、社会に対する奉仕の機会」



アーサー・シェルドン(1868～1935)
1908年シカゴRC入会
ロータリーの改革者
・「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
・「ビジネスはすべて社会に尽くす手段ではなくてはならない」



ハリー・ラグレス(印刷業)
・「諸君、歌を歌おう」



ハーバート・テーラー (1893～1978)
・1927年シカゴRC入会
・「四つのテスト」
・真実かどうか?
・みんなに公平か?
・好意と友情を深めるか?
・みんなのためになるか どうか?



アーチ・クランプ()
・1917年アトランタ国際大会で「ロータリー基金」創設提案、
・1928年「ロータリー財団承認」
・1947年ポール・ハリス逝去により、追悼寄付金で大きく成長
・1983年米国イリノイ州法令下、非営利財団法人となる



日本のロータリーの黎明期

福島喜三次(1881-1946.9)
・日本人最初のロータリアン(ダラスロータリー・クラブ)
1920年東京RC設立の一人。1922年大阪RC設立にかかわる



米山梅吉(1868-1946.4)
・1920年世界855番目のRC(東京RC)を設立し、日本に初めてロータリーを導入。東京RC初代会長。
「ロータリー米山記念奨学会」

●『IAC活動報告及び今後の活動予定』

インターアクトクラブの会長、副会長が前年度からの活動予定及び、今後の活動予定について発表しました。レポートは次ページをご参照下さい。



●ニコニコ・ソーリー

泉水会長、篠田幹事

今日は、市原中央高等学校IACより渡邊会長を始め田中先生、ようこそお越し頂きありがとうございます。市原RCは本年度も市原中央高等学校IACの更なる飛躍の為にサポートと交流をしていきます。

●出席報告

前々回確定 65.21% 本日出席者 31 名
本日欠席者 15 名 本日出席率 67.39%

●点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫

市原中央高等学校インターアクトクラブ
市原ロータリークラブ例会出席レポート

日時:2011 年 9 月 18 日(水)12 時～13 時半

場所:五井グランドホテル 2 階

参加者:計 4 名(会長 1 名、副会長 2 名、顧問(引率))

市原ロータリークラブ例会にて、
インターアクトクラブの会長、副会長が前年度からの活動予定及び、今後の活動予定について発表した。

前年度までの事業(3 点)

- ・絵本の収集(被災地支援)
- ・世界寺子屋運動(書き損じはがきの回収)
- ・保育ボランティア

本年度継続事業(6 点)

- ・ペットボトルキャップ回収事業
- ・清掃・美化活動(学校周辺、小湊鉄道上総山田駅)
- ・Happy Toys Project
(手作り縫いぐるみ寄贈ボランティア 参照:(フェリシモ)<http://www.felissimo.info/toys/>)
- ・フラワーソーブ作成
- ・年次大会
- ・指導者講習会

今年度新規事業(1 点)

- ・文化学習(外国料理実習、ワークショップ)

今後の事業展開(仮)(2 点)

- ・ペットボトルキャップ回収事業仕組みを調べる。(宣伝・回収に生かす)
- ・国内の災害、天災の支援

前年度までの事業を含め、より地域・学校に貢献できるよう、インターアクトクラブの特性を生かし積極的に活動していきたい。
